

活動報告書

【団体の概要】

事業名： 里山整備＆親子自然体験推進事業
 団体名： アジロ山の自然と環境を守る会

【活動の概要】

目的：70種類ほどの広葉樹が生息している豊かな県有地を借受、不法投棄やゴミをなくす活動を行なながら、森を除間伐して遊歩道作りや自然に親しめる環境整備を継続的に行い森は様変わりしました。子どもや市民の憩いの場となりゴミの山が「宝の山」に変身し、今では『アジロ自然の森』に毎日の様に市民が訪れています。

森を整備し始めて今年で15年目。森の中には木が生長して暗くなつた所があり、継続して除間伐や植樹をした周辺の下草刈りや遊歩道の草刈り作業を行います。

「森のようちえん＆自然体験」の事業と平日誰もが安心して散策出来る「森」にし、森を訪れた市民に「自然と環境」を守る事の大切さを知ってもらう事が目的です。

内容：事前準備として、老朽化し危険だったツリーハウスを「こうち森林救援隊」に委託して解体しました。腐った木材のボルトや釘がなかなか抜けず一苦労。チエンソーで切断しながら解体するなど、困難な作業でしたが2日間で処理を完了させました。跡地は除間伐をして森を明るくし、資材を担ぎ上げた丸太で「休憩ベンチ」を設置しました。

里山体験イベントは11月20日に「遊ぼうアジロ山まるごと自然体験」を建設コンサルタント協会と共に実施しました。総勢150名がアジロ自然の森に集まり、「森の散策」「ノコギリ体験」「ネイチャーゲームで森の観察を」「森を散策して自然を楽しもう」「木工・クラフト体験広場」「森の音楽祭」「マイ箸を作つて豚汁を」などのコーナーを親子で満喫していました。

1月15日は、火を見る事の少ない子どもたちと「焼き芋も体験」を行い、自然を楽しみながら火の大切さ、危険性を学んでもらいました。前日の雨で薪や地面が湿っていて、焼き芋の火起こしは一苦労。自然の中で火を起こすことの大変さをみんなで理解しあいました。自然を満喫したあと、お昼に無事焼けた芋をほおばっていました。午後は森の恵みを活用したストラップや竹のカップ作りを行いました。

成果：安心して自然体験が出来る「アジロ自然の森」作りを進め、「森」にはコロナに負けない元気な子どもたちの声が聞こえています。ゴミの山を地元住民と森林ボランティアの支援で整備して市民の「宝のお山」に変身させてきた取り組みは地域住民の誇りであり、市民に「自然と環境」を守る事の大切さもアピールする事が出来ました。

【プログラム】

実施年月日： 令和4年11月20日（日）
場 所： アジロ自然の森 高知市朝倉己1152-24
日程 時間 内容 詳細
10:00 開会挨拶 建設コンサルタント協会・高知県森と緑の会・アジロ山の自然と環境を守る会
10:15 スタッフ紹介・日程の説明と注意事項
10:20 森を散策 ネイチャーゲームで森の観察を ノコギリ体験で森の整備を 森を散策して自然を楽しもう
12:00 お昼 マイ箸を作つて豚汁を食べよう
13:00 森の音楽祭 サンドイッチパーティーによる森の音楽会 木工体験・クラフト体験
14:30 終了

日程	時間	内容	詳細
10:00	開会挨拶	建設コンサルタント協会・高知県森と緑の会・アジロ山の自然と環境を守る会	
10:15		スタッフ紹介・日程の説明と注意事項	
10:20	森を散策	ネイチャーゲームで森の観察を ノコギリ体験で森の整備を 森を散策して自然を楽しもう	
12:00	お昼	マイ箸を作つて豚汁を食べよう	
13:00	森の音楽祭	サンドイッチパーティーによる森の音楽会 木工体験・クラフト体験	
14:30	終了		

(備考)

参加人数： 大人 31名	・ 子供（～17才） 63名	／ 外部講師 名	・ スタッフ 51名
--------------	----------------	----------	------------

募集地区： 県下	募集対象： 親子
----------	----------

募集方法： チラシ・ネット・情報誌・小学・保育	参加費等： 無料
-------------------------	----------

マスコミ等での紹介例（あれば）：テレビ高知・さんさんテレビで放映、くらしの情報

感想：

<参加者>

子どもの成長におどろいた。森林インストラクターによる森の木を知るゲームは良かったです。葉っぱでジャンケンを始めました。自然の中で楽しめる事が分かったので友達にも教えたい。竹を使ったコップ作りは楽しかった。竹での楽器作りは子どもが大喜びでした。自分で作った楽器での演奏は素敵でした。マイ箸は家に帰っても使ってみたくなる。クラフト作りに熱中し豚汁が食べられなかった。焼きいも体験は前日の雨で火起こしが大変だった。手作りのベンチ・ブランコがあって子どもを遊ばせるにはサイコーです。アジロ山を子ども達の自然体験の場に使ってほしいです。また行事があれば参加したい。

<スタッフ>

遊歩道に石が落ちたり掘りかえされたりイノシシの被害が多い。駐車場や周辺の草刈は面積があり大変だ。定期的な見回りがあり森を安全に体験出来る。スタッフの高齢化若いリーダー養成が必要だ。「アジロ自然の森」も本気でリーダー養成をしなくては。森を整備するリーダーにもっと活動手当の予算を出してほしい。地域の無償リーダーでは草刈やチェーンソーなど危険作業は出来ない。森の整備費用を出してほしい。

【プログラム】

実施年月日： 令和5年1月15日（日）			
場 所： アジロ自然の森 高知市朝倉己1152-24			
日程：	時間	内容	詳細
	10:00	開会挨拶	高知県森と緑の会・アジロ山の自然と環境を守る会
	10:15		スタッフ紹介・日程の説明と注意事項
	10:20	森を散策	みんなで焼き芋の準備を 森の散策をして自然体験を
	12:00	お昼	焼き芋を食べながら昼の食事を
	13:00	クラフト体験	竹の太鼓・木の鉛筆やストラップ作り体験
	14:30	終了	
(備考)			
参加人数： 大人 16名 ・ 子供（～17才） 22名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 13名			
募集地区：	県下	募集対象：	親子
募集方法：	チラシ・ネット・情報誌・小学・保育	参加費等：	無料
マスコミ等での紹介例（あれば）：			
感想：			
<参加者> 親子で焼きいも体験が出来て良かった。焼きいもをしてくれた叔父さんに感謝です。体験で子どもたちはゆっくりと自然を観察出来た。運動不足を解消して大満足顔でした。今日一日親子で外で過ごせて良かった。自然の中に遊具があり子どもが楽しめる。竹の太鼓作りが楽しかった。			
<スタッフ> コロナに負けない元気な子どもの姿に感動した。森の恵みを活用したストラップ作りは準備が大変だが喜ばれる。焼き芋体験が実施できて良かった。焼き芋体験は薪の準備が大変。苦労して森を整備して良かった。雪害で何本か遊歩道に倒れたが前準備で除去できた。			

活動報告書

番号

2

【団体の概要】

事業名：まきのネイチャーゲーム

団体名：まきのシェアリングネイチャーの会

【活動の概要】

目的:子ども達へネイチャーゲーム並びに自然体験活動を通し、海・川・山の持つ自然への発見・不思議や地域文化を学ぶことにより、子どもの持つ慣性を伸ばし、「気づき」「理解」「行動」など「生きる力」を醸成するきっかけ作りを目的とする。

内容:牧野植物園を活用し自然体験活動(環境教育)プログラムであるネイチャーゲーム等を実施

成果:子供たちの豊かな感性を呼び起こし、生きる力を育むことができました。

【プログラム】

実施年月日：令和4年6月19日(日)

場所：高知県立牧野植物園

日程	時間	内容	詳細
「ムシむし虫」初夏のまきのネイチャーゲーム			
9:30	受付		牧野植物園正門チケット販売前
10:00	開式		主催者挨拶、スタッフ紹介 諸注意、日程説明
10:10			小さいきものを見つけよう 「葉っぱで虫づくり」 ネイチャーゲームを楽しみましょう 「カモフラージュ」 「フィールドビンゴ」 etc.
11:50	閉式		お知らせ、主催者挨拶、記念写真
12:00	解散		

(備考)

参加人数:大人 13名 ・ 子供(～17才) 16名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 14名

募集地区:高知県内 募集対象:親子

募集方法:高知新聞社、えこらぼ、チラシ、えこくらぶHP 参加費等:無料

マスコミ等での紹介例(あれば):

感想:

<参加者>

この行事に参加しての満足度はどれくらいですか？

- ・大変満足9(69%)
- ・満足4(31%)

葉っぱの虫づくり、大人も楽しめました。スタッフの皆さんと暖かく接してくださり、子どもも落ち着いて楽しめたようで嬉しかった。フィールドビンゴでは子どもの感じ方、物を見つける視点など、すごいなー！と驚き＆新たな発見があり、嬉しく感じました。また参加したいです。2歳の子もいろんな実や自然に触れたりして楽しんでいました。5歳の子はもっとやりたいと自宅でもやるそうです。自分達では思いつかない遊びがあり楽しかったです。スタッフのチームワークが良くてゲームを楽しめました。自分が子供の時より自然が減ってきたので、こういった体験を通していろんな事を感じれるいい機会だと思いました。自然に触れるビンゴゲームやカモフラージュゲーム、虫づくり等、企画が充実していて楽しめました。

<スタッフ>

1. 時期/場所 ○天候もよく、心配なく実施できた。○感染状況は減っているとはいえたが、10歳未満の割合20%以下・市内の保幼小のクラスター2つ以下の自主基準を定め、よく見極めて実施判断ができる

た。

2. 準備 ○主要メンバーの欠席にもかかわらず、よく準備ができ、スタッフも理解した上で適切に対応することができた。
3. 運営 ○見学の今野氏から指摘されたように、男の子2名と保護者1名家族への支援が十分ではなかった。今後はスタッフと対象家族との見守り体制をどう確立するのかが課題である。○アンケートを見ると、保護者は「フィールドビンゴ」への子どもの関心・興味にポイントが高い。だが、子どもは「虫取り」が最大の狙いであったようなので、テーマとずれがある。これをどうするかが課題である。○ほぼ時間通り進行することができた。
4. 集合・打ち合わせ○全員が時間通りに集合し、用意が充分にできた。

【プログラム】

実施年月日： 令和4年11月13日(日)

場 所： 高知県立牧野植物園

日程	時間	内容	詳細
「宝さがし」初冬のまきでのネイチャーゲーム			
	9:30	受付	南門側温室東テラス場
	10:00	開式	主催者挨拶、スタッフ紹介 諸注意、日程説明
	10:10		植物園の自然の中で大発見 「宝ものを見つけよう」 ネイチャーゲームを楽しみましょう 「宝さがし」「カメラゲーム」等 「フィールドビンゴ」
	11:50	閉式	お知らせ、主催者挨拶、記念写真
	12:00	解散	

(備考)

参加人数: 大人 9名 ・ 子供(～17才) 11名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 12名

募集地区: 高知県内 募集対象: 親子

募集方法: 高知新聞社、えこらぼ、チラシ、えこくらぶHP 参加費等: 無料

マスコミ等での紹介例(あれば):

感想:

<参加者>

満足度、大変満足11%、満足88%

1組にお一人ずつ案内の方がついてくれて、安心して参加することができました。そして、大いに助かりました。天候が良ければもっと良かったかな。雨でも楽しめた。カメラ撮影では、子どもが見せたいと思った景色を見せてもらったことが嬉しく感じた。

<スタッフ>

1. 時間場所 ○雨天だったがフィールドを変更したことで心配無く実施できた。○感染状況が減っているとは言え良く見極めて実施判断ができた。
2. 準備 ○基本的な準備は滞りなくできた。○グッズ準備救急用品は早めに確認したい。
3. 運営 ○急遽、応援スタッフが5名参加、参加者の支援ゲーム担当など、行き届き良かったがスタッフの対応に苦慮した。○拡声器の調子が悪かったのは残念でした。

活動報告書

番号

3

【団体の概要】

事業名: Trail Jamboree in 甫喜ヶ峰 2022

団体名: 甫喜ヶ峰トレイルランニング実行委員会

【活動の概要】

目的:園内に設けたコースを走ることで、自然に触れ、その大切さや保全について関心を高めてもらう

内容:10km、リレー、キッズの3コースを設け、それぞれのコースを走ることで自然を楽しむ

成果:普段森林公园に来たことがなかったが、とても気持ちよいところなので今後も足を運びたいなど、森林公园自体にも興味を持つてもらえるようになってきたと思われる

【プログラム】

実施年月日: 令和4年12月4日(日)

場所: 県立甫喜ヶ峰森林公园内

日程:	時間	内容	詳細
6:30～	準備開始		最終ルート確認、資材配置、スタッフ打合せ等
8:00	受付開始		セッケン等配布、体調チェック、計測機器配布とテスト
8:45	開会式		注意事項等説明
9:00	10kmコーススタート		立哨スタッフ配置、中盤・最後尾スタッフ並走
11:30	10kmコース表彰式		男女別に1～3位まで表彰
11:35	キッズA-1スタート		小学1～3年生(4年生の障害を持つお子さんが一人妹さんと出走)、先頭・中盤・最後尾スタッフ並走
11:55	キッズA-2スタート		小学4～6年生、先頭・中盤・最後尾スタッフ並走
12:15	キッズBスタート		未就学児、先頭・中盤・最後尾スタッフ並走
12:25	キッズ表彰式		各コース上位1～3位を表彰
12:30	リレーコーススタート		1チーム4人で、1・3走、2・4走が園内の頂上付近と麓付近をタスキでつなぐ、立哨スタッフ配置、最終ランナースタッフ並走
15:00	リレーコース表彰式		男・女・混合の3部門で上位1～3位を表彰
15:15	閉会式		
15:30～	片付け		テント・資材撤去、レンタル物の返却等

(備考)

参加人数: 大人 123名 ・ 子供(~17才) 77名 ／ 外部講師 8名 ・ スタッフ 17名

募集地区: 県内(但し、県外参加者も受入)	募集対象: 18歳以上(但し保護者の同意があれば中高生可)、小学生、未就学児
募集方法: ホームページ、Facebook、チラシ配布	参加費等: 10km:4,000円 リレー:4,000円/1チーム キッズ小学生:1,000円 キッズ未就学:500円

マスコミ等での紹介例(あれば):

感想:

<参加者>今年もアットホームな雰囲気の大会で楽しかった。寒いなか立ってくれている立哨スタッフがいるのがありがたかった。

<スタッフ>コースが複雑すぎて、スタッフの入れ替わりで周知するのが大変。コース変更して欲しい。

活動報告書

番号

4

【団体の概要】

事業名： 2022ふなと四万十川源流点ウォーキング

団体名： 船戸活性化委員会「四万十川源流点」

【活動の概要】

目的：四万十源流地域の豊かな自然環境の中を地元ガイドとともにウォーキングすることにより、里山の文化と保全活動を理解していただく。

内容：満天の星本社駐車場から四万十川源流点までの往復16kmと四万十源流センターから四万十川源流点までの往復8kmの2コースを設定し、ウォーキング。

成果：本年もコロナ禍の中ではあったが、屋外の事業であり感染症対策を充分に注意して行うこととした。参加者は当初50人程度の申し込みがあったが、申込者が多く最終的に52名の参加となった。参加者には秋を感じながらウォーキングを楽しんでいただいた。初めて参加された方が多く、船戸地区の活動を知っていただく機会になった。

【プログラム】

実施年月日： 令和4年11月12日(土)

場所： 高知県高岡郡津野町船戸地内 満天の星・四万十川源流点・集落活動センターふなと

日程:	時間	内容	詳細
	10月30日(日)	事前整備	古道整備
	11月12日(土)	ウォーキングイベント	
	8:30	集合、開会セレモニー	満天の星本社駐車場
	8:50	ウォーキング出発	堂海公園出発者 車で移動
	11:30	四万十川源流の碑到着	源流点折り返し
	12:30	昼食	集落活動センターふなとで昼食(弁当)
	14:00	河内五社神社	秋の例祭津野山古式神楽・船戸花取り踊り鑑賞

(備考)

参加人数：大人 49名・子供(～17才) 3名／外部講師 2名・スタッフ 13名

募集地区： 高知県内 募集対象： ウォーキング可能な方

募集方法： 津野町HP・新聞・チラシ 参加費等： 一人2,000円

マスコミ等での紹介例(あれば)：

感想：

<参加者>

- ・スタッフの方やガイドが親切で良くしていただいて良かった。
- ・お弁当も色とりどりで良かった。
- ・秋を感じながらガイドさんの話を聞き、とてもリフレッシュされました。
- ・いつも楽しみにしています。続く限り参加したいです。

<スタッフ>

コロナ感染症の中ではあったが定員以上の参加申し込みをしていただいて良かった。

番号
5

活動報告書

【団体の概要】

事業名： こうち山の日 森林総合センター祭 キッズフェス

団体名： 情報交流館ネットワーク

【活動の概要】

目的：森林や自然に関わる団体や個人、また情報交流館の加盟団体が出展や展示、ワークショップ等を行い、日頃の活動をPRするとともに、参加者に森林の大切さ、楽しさを感じてもらい、森に親しみ、自然環境や命を大切にする心を育む事を目的とする。

内容：

- ・森林や木材等に関連した出展や展示、ワークショップ
- ・森林センターの自然を活用した自然体験
- ・地元の特産品などの出店
- ・森の音楽会

など

成果：子どもとその家族に自然体験、木に関わる事、木使いを周知することができた。また森林ボランティアの交流促進にもなり、世代間交流も活発であった。

【プログラム】

実施年月日： 令和4年11月20日(日)

場所： 高知県立森林研修センター 情報交流館

日程	時間	内容	詳細
	10:00	開会式 バンド演奏	森林や自然に関連した物づくり、体験ブースと飲食ブースで構成しました。
	13:00	ブース紹介など	
	15:00	閉会式	

(備考)

参加人数：大人 500名 ・ 子供(~17才) 700名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 121名

募集地区：	高知県全域	募集対象：	一般
-------	-------	-------	----

募集方法：	小学校へチラシ配布等	参加費等：	入場料無料(一部有料)
-------	------------	-------	-------------

マスコミ等での紹介例(あれば)：高知さんさんテレビ「三山ひろしのさんさん歩」で事前告知

感想：

<参加者>アンケートから抜粋

子どもが気に親しみ持てるイベントで、楽しく過ごさせていただきました。

遊びや体験を通して、楽しく木や自然に触れることができました。

楽しかったです。スタンプラリー子どもが頑張っていました。

スタッフの方が皆親切でした。木のぬくもりに触れることが出来てとても良かったです。

いたる所にスタッフの方がいらっしゃって、安心して楽しめました。フォークソングのバンドがすごく素敵で、いい雰囲気でした！すごく楽しめました！

ゲームを無料で遊ばせてくれたり、フード類も安く提供してくださりありがとうございました。ゴミも回収してくださりありがとうございました。

<スタッフ>

天気にも恵まれ子ども達の笑顔にこちらも笑顔になりました。改善点もありますが概ねスムーズに開催することができました。子ども達に楽しい思いを伝えたいという気持ちを持った出展者、スタッフの集まりでしたので、子ども達も何か感じ取ってくれていればと思います。

【団体の概要】

事業名： ネイチャーゲーム青空教室・ネイチャークラフト教室
 団体名： 甫喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会

【活動の概要】

目的:近年、こどもたちをめぐる様々な課題が叫ばれているなか、学校や家庭以外にこどもたちが自分自身の存在を確認したり、心優しい仲間づくりができる場所が必要とされています。本会では、子ども達へネイチャーゲーム並びに木使い活動を通して、豊かな自然の恵みや自然への発見・不思議や地域文化を学ぶことにより、子どもの持つ感性を伸ばし、「気づき」「理解」「行動」など「生きる力」を醸成するきっかけ作りを目的とする。

内容:自然体験活動(環境教育)プログラムであるネイチャーゲームアクティビティを実施し、こどもたちの発想力や豊かな心を育む。木のペンダントや竹の万華鏡、クリスマスリースや門松づくりなどを通して森林への関心を高める。

成果:自然物を活用したクラフトを行う事で木に触れ木についての学びが深まり、森林への関心を高める事が出来ました。こどもたちの発想力や豊かな心を育むきっかけづくりができました。

【プログラム】

実施年月日： 令和4年8月4日(木)

場 所： 長岡郡本山町本山 土佐れいほく観光協議会

日程:	時間	内容	詳細
	9:00～14:00	・竹の万華鏡づくり ・木のペンダントづくり ・竹のランプシェードづくり ・どんぐりクラフト	竹を使った万華鏡づくり 杉の木を使った木のペンダントづくり 竹を使ったランプシェードづくり どんぐりを使った自由クラフト

(備考) 高知県、本山町、本山町教育委員会の後援承認、土佐れいほく観光協議会の協力をいただきました。

参加人数：大人 名 ・ 子供(～17才) 12名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 3名

募集地区： 高知県内 募集対象： 一般：こども・大人

募集方法：チラシ配布、観光協会、日本SN協会HP等 参加費等： 200円

マスコミ等での紹介例(あれば)：なし

【プログラム】

実施年月日： 令和4年8月11日(木・祝)

場 所： 長岡郡本山町本山 土佐れいほく観光協議会玄関

日程:	時間	内容	詳細
	9:00～14:00	・竹の万華鏡づくり ・木のペンダントづくり ・竹のランプシェードづくり ・どんぐりクラフト	竹を使った万華鏡づくり 杉の木を使った木のペンダントづくり 竹を使ったランプシェードづくり どんぐりを使った自由クラフト

(備考) 高知県、本山町、本山町教育委員会の後援承認、土佐れいほく観光協議会の協力をいただきました。

参加人数：大人 名 ・ 子供(～17才) 17名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 2名

募集地区： 高知県内 募集対象： 一般：こども・大人

募集方法：チラシ配布、観光協会、日本SN協会HP等 参加費等： 200円

マスコミ等での紹介例(あれば)：なし

【プログラム】

実施年月日： 令和4年8月18日(木)

場 所： 長岡郡本山町本山 土佐れいほく観光協議会玄関

日程:	時間	内容	詳細
-----	----	----	----

9:00～14:00	・竹の万華鏡づくり ・木のペンダントづくり ・竹のランプシェードづくり ・どんぐりクラフト	竹を使った万華鏡づくり 杉の木を使った木のペンダントづくり 竹を使ったランプシェードづくり どんぐりを使った自由クラフト
(備考) 高知県、本山町、本山町教育委員会の後援承認、土佐れいほく観光協議会の協力をいただきました。		
参加人数: 大人 2名	・ 子供(～17才) 13名	／ 外部講師 名 ・ スタッフ 2名
募集地区: 高知県内	募集対象:	一般:こども・大人
募集方法: チラシ配布、観光協会、日本SN協会HP等	参加費等:	200円
マスコミ等での紹介例(あれば):なし		

【プログラム】

実施年月日: 令和4年8月25日(木)					
場 所: 長岡郡本山町本山 土佐れいほく観光協議会玄関					
日程:	時間	内容	詳細		
	9:00～14:00	・竹の万華鏡づくり ・木のペンダントづくり ・竹のランプシェードづくり ・どんぐりクラフト	竹を使った万華鏡づくり 杉の木を使った木のペンダントづくり 竹を使ったランプシェードづくり どんぐりを使った自由クラフト		
(備考) 高知県、本山町、本山町教育委員会の後援承認、土佐れいほく観光協議会の協力をいただきました。					
参加人数: 大人 5名	・ 子供(～17才) 12名	／ 外部講師 名	・ スタッフ 3名		
募集地区: 高知県内	募集対象:	一般:こども・大人			
募集方法: チラシ配布、観光協会、日本SN協会HP等	参加費等:	200円			
マスコミ等での紹介例(あれば):なし					
感想: 8/4、8/11、8/18、8/25まとめ					
<参加者> 丁寧に指導いただき、親子で楽しめました。もっとこういう機会を増やしてほしいと思いました。木もと竹うらの言葉を初めて知ったから良かった。木、竹を使って作ることは初めてでしたが楽しかったです。税金を有効活用してくれてありがとうございます。学校の宿題ができた助かりました。またイベントに参加したいです。					
<スタッフ> 暑い中ではありましたが、ゆったりと木や竹等にふれあう機会が出来て良かったと思います。 突発的な雨により作業が中断する事もありましたが、参加者の協力などもあり無事実施出来ました。					

【プログラム】

実施年月日: 令和4年9月23日(金・祝)			
場 所: 長岡郡本山町本山 アウトドアビレッジ本山、帰金山公園			
日程:	時間	内容	詳細
	10:00～11:00	ネイチャーゲーム	カモフラージュ、森の美術館
	11:00～11:30	木のペンダントづくり	木のペンダントをつくる
	11:30～12:00	竹の万華鏡づくり	竹を使った万華鏡をつくる
(備考) 本山町、モンベルの協力を得た活動			
参加人数: 大人 4名	・ 子供(～17才) 3名	／ 外部講師 名	・ スタッフ 4名
募集地区: 高知県内	募集対象:	一般:こども・大人	
募集方法: モンベルチラシ、HP等	参加費等:	200円	
マスコミ等での紹介例(あれば):なし			

【プログラム】

実施年月日: 令和4年11月6日(日)			
場 所: 香美市土佐山田町 甫喜ヶ峰森林公園			
日程:	時間	内容	詳細
	9:00～9:30	受付、あいさつ	

9:45～11:00	いもほり体験	いもほり体験(移動含む)
11:00～12:00	花炭づくり	花炭づくりと焼き芋づくり
12:50～14:30	ネイチャーゲーム	目かくしいもむし、ジャンケン落ち葉集め、美の小道
(備考)		
参加人数: 大人 8名 ・ 子供(~17才) 11名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 7名		
募集地区: 高知県内	募集対象:	一般:大人、こども
募集方法: チラシ配布、HP等	参加費等:	200円
マスコミ等での紹介例(あれば):なし		
感想:		
<参加者> おいもをとった時の感動はうれしかったです。花炭は初めて見てキレイで感動しました。耳を澄まして自然の音を感じ目隠しをはずした瞬間のすがすがしい気持ちは驚きました。初めての体験で自然との一体感というのほんの入口を経験できました。楽しかったです。		
<スタッフ> 森林公園や畠など自然環境にどっぷりふれあう事が出来たと思います。焼き芋体験も大喜びでした。		

【プログラム】

実施年月日: 令和4年11月20日(日)			
場 所: 香美市土佐山田町 森林技術センター・情報交流館			
日程:	時間	内容	詳細
	10:00～15:00	ネイチャーゲーム 木のおもちゃづくり 竹の万華鏡づくり	カモフラージュ、目かくしトレイン 木のおもちゃをつくる 竹を使った万華鏡をつくる
(備考)			
参加人数:大人 45名 ・ 子供(~17才) 55名	／ 外部講師	名 ・ スタッフ 6名	
募集地区: 高知県内	募集対象:	一般:こども・大人	
募集方法: キッズフェスチラシ、HP等	参加費等:	ネイチャーゲーム:無料、クラフト200円	
マスコミ等での紹介例(あれば):なし			
感想:			
<参加者> 子ども達が喜んで木のおもちゃに触れて楽しんでいる様子があり親としても嬉しかったです。期待以上だった。			
<スタッフ> 多くの方に木や竹を使ったネイチャークラフトに参加いただきました。ネイチャーゲームで身近な自然を体験いただく事ができた。			

【プログラム】

実施年月日: 令和4年12月3日(土)			
場 所: 南国市大堀 土曜市			
日程:	時間	内容	詳細
	10:00～14:00	・クリスマスリースづくり ・門松づくり	自然素材を使ったクリスマスリースづくり 竹を使った門松づくり
(備考) 高知県、南国市、南国市教育委員会、南国市観光協会の後援承認をいただきました。			
参加人数: 大人 5名 ・ 子供(~17才) 8名	／ 外部講師	名 ・ スタッフ 5名	
募集地区: 高知県内	募集対象:	一般:こども・大人	
募集方法: チラシ配布、観光協会、日本SN協会HP等	参加費等:	500円	
マスコミ等での紹介例(あれば):なし			
感想:			
<スタッフ> クリスマスリース作りでは自然素材を使って、発想豊かにリース作りが楽しめた様でした。 門松づくりでは子供から大人まで夢中で楽しんでいました。土曜市の活性化につながったと思います。			

【プログラム】

実施年月日： 令和4年12月10日(土)					
場 所： 南国市大塙 土曜市					
日程：	時間	内容	詳細		
	10:00～14:00	・クリスマスリースづくり ・門松づくり	自然素材を使ったクリスマスリースづくり 竹を使った門松づくり		
(備考) 高知県、南国市、南国市教育委員会、南国市観光協会の後援承認をいただきました。					
参加人数: 大人 9名 ・ 子供(～17才) 14名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 3名					
募集地区： 高知県内		募集対象： 一般:こども・大人			
募集方法: チラシ配布、観光協会、日本SN協会HP等		参加費等： 500円			
マスコミ等での紹介例(あれば)：なし					
感想：					
<スタッフ> 放課後デイサービスの子ども達も自然物を使ったリースや門松づくりに集中して作業が出来ました。五感への刺激が成長への糧になったものと思います。					

【プログラム】

実施年月日： 令和4年12月17日(土)					
場 所： 南国市大塙 土曜市					
日程：	時間	内容	詳細		
	10:00～14:00	・クリスマスリースづくり ・門松づくり	自然素材を使ったクリスマスリースづくり 竹を使った門松づくり		
(備考) 高知県、南国市、南国市教育委員会、南国市観光協会の後援承認をいただきました。					
参加人数: 大人 12名 ・ 子供(～17才) 15名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 3名					
募集地区： 高知県内		募集対象： 一般:こども・大人			
募集方法: チラシ配布、観光協会、日本SN協会HP等		参加費等： 門松、クリスマスリース:500円 ランプシェード:200円			
マスコミ等での紹介例(あれば)：なし					
感想：					
<スタッフ> 門松づくりは大忙しとなり、大変需要があるものと思いました。次年度はリピーターが来ると思われる所以、さらに多くの参加が期待できると思いました。					

【プログラム】

実施年月日： 令和4年12月24日(土)					
場 所： 南国市大塙 土曜市					
日程：	時間	内容	詳細		
	10:00～14:00	・クリスマスリースづくり ・門松づくり	自然素材を使ったクリスマスリースづくり 竹を使った門松づくり		
(備考) 高知県、南国市、南国市教育委員会、南国市観光協会の後援承認をいただきました。					
参加人数: 大人 4名 ・ 子供(～17才) 2名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 3名					
募集地区： 高知県内		募集対象： 一般:こども・大人			
募集方法: チラシ配布、観光協会、日本SN協会HP等		参加費等： 門松、クリスマスリース:500円 ランプシェード:200円			
マスコミ等での紹介例(あれば)：なし					
感想：					
<参加者>12/3、12/10、12/17、12/24まとめ 楽しかったです！知っていたらみんなしてみたがると思います！門松を作つてみたかったから参加した。また参加したいです。優しく指導してくれてスムーズに出来た。少ないスタッフで丁寧に対応していただきありがとうございました。来てから知った。来年も来てね！					
<スタッフ>					

土曜市の関係者にも感謝され、体験イベントは何時でも歓迎するし、協力していただけたとの事でした。
参加者及び土曜市の関係者に歓迎いただき、次年度も企画したいと思いました。

【プログラム】

実施年月日： 令和5年1月15日(日)			
場 所： 長岡郡本山町本山 アウトドアビレッジ本山、帰全山公園			
日程：	時間	内容	詳細
	10:00～11:30	ネイチャーゲーム	森の福笑い、森の美術館、カモフラージュ
	11:30～12:30	クラフト	木のペンダント、竹の万華鏡をつくる
	13:00～13:30	クラフト	木のペンダント、竹の万華鏡をつくる
	13:30～14:00	ネイチャーゲーム	森の福笑い、森の美術館、カモフラージュ
(備考)本山町、モンベルの協力を得た活動			
参加人数:	大人 4名	・ 子供(～17才) 7名	/ 外部講師 名 ・ スタッフ 4名
募集地区:	高知県内	募集対象:	一般:こども・大人
募集方法:	モンベルチラシ、HP等	参加費等:	200円
マスコミ等での紹介例(あれば):がんばれエコ応援団の取材あり(2月19日放映予定)			
感想: 9/23、1/15まとめ			
<参加者> 期待以上だった。とても楽しかったです。スタッフの方々が親切で楽しく過ごせました。			
<スタッフ> 家族でゆったりと自然を感じる事が出来たと思います。木や草花など自然を身近に感じる体験が出来たと思います。			

活動報告書

番号

7

【団体の概要】

事業名：甫喜ヶ峰フェスティバル2022

団体名：一般社団法人 高知県山林協会

【活動の概要】

目的：街の人に森林や自然に興味を持つもらうため

内容：森林や木に関する体験コーナー等を地元、関係団体、ボランティア団体等に設置してもらい、来園者に体験してもらう

成果：雨の中だったが、楽しかったので色々なイベントに参加していきたいとの声があり、少しでも森林や自然に興味関心を持ってもらえたと思われる

【プログラム】

実施年月日：令和4年11月13日(日)

場所：高知県立甫喜ヶ峰森林公園

日程：	時間	内容	詳細
	10:00	開始	
		流木クラフトづくり体験	室戸の海岸の流木を使ったクラフト作り体験(国立室戸青少年自然の家)
		・自作ペットボトル風車で発電体験 ・甫喜ヶ峰風力発電所の見学・説明	ペットボトルで風車を作製し発電について学習する。また、コロナ禍を鑑み、風力発電は登頂体験は中止し、下から見学・説明を実施。(高知県公営企業局)
		・親子で楽しめるシェイプアップヨガ体験	(今回は雨天のため室内で実施) 自然の中でリラックスできるような、子どもでもできるヨガ体験を実施。シェイプアップヨガだけでなく、参加者の腰痛や肩痛に効くヨガなども指導。(サーナ・ヨガ)
		・昆虫標本づくり体験	ハチやクワガタ、セミなどの標本をつくる体験コーナーを実施。ハチなど珍しい標本づくりを体験でき、生き物から自然に関心を持ってもらえるコーナーとして実施。(舟木翔一)
		・ネイチャーゲーム体験 ・クリスマスリース作り体験 ・バザー	ネイチャーゲーム体験や、クリスマスリース作りを通して自然に触れてもらった。(甫喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会)
		・紙などを使ってクラフト作り体験	空飛ぶ蝶々、牛乳パックグライダー、ふあふあスライム、パスタやファンシーボールで作るクリスマスリース、プラトンボいろいろ、どんぐりストラップ、マツボックリピーさん、パタパタ飛行機など、色々なクラフト作りが体験できるコーナーを実施。(盛一馬さんご夫婦)
		・バザー ・手作りお菓子等販売	活動の広報を兼ねて、バザーやお菓子等の販売を実施(高知ガールスカウト第一団)
		・モルック体験	今流行のモルックを森林公园で体験してもらい、自然を満喫してもらった。(地元有志)

・スラックライン体験	雨天のため研修棟で、スラックラインを体験してもらった。(トサ・スラックライン)
・ロゼットとシュシュづのワークショップ	ロゼットやシュシュといった小物を作れるコーナー。(有志)
・子ども鼓笛隊	高岡で活動している子ども達による鼓笛隊演奏(有志)
・木のおもちゃ遊び ・木エクラフト販売	木で作ったおもちゃで遊べるブース設置と販売。(土佐ろくろく工房)
・飲食物販売	高知の山菜などの販売のほか、うどんなどの軽食を販売。(繫藤婦人防火クラブ)
・飲食物販売	アウトドア用ピザ窯で焼いたピザなどの販売のほか、フランクフルトやポップコーンなどの軽食販売。(有志)
・木工教室	木の端材や木の実を使って自由にクラフト作製をしてもうブース。(有志)
14:00	終了

(備考)雨天のため森の図書館・間伐ボーリング・的あては中止、ツリークライミングは出店者が参加キャンセル

参加人数: 大人 約200名 ・ 子供(～17才) 約200名 ／ 外部講師 5名 ・ スタッフ 7名

募集地区:	高知県下全域	募集対象:	どなたでも
募集方法:	学校中心にチラシ配布、ホームページ掲載、Facebook・Instagram・Twitter掲載、出店団体によるSNSでの広報活動、高知新聞こみゅっと、高知新聞社高知の子育て応援ウェブメディアコハレ	参加費等:	各ブースにて支払い

マスコミ等での紹介例(あれば):

感想:

<参加者>楽しかった、他のイベントにも参加してみたい

<スタッフ>雨天延期にして欲しい(実際には出店者の事情があるので難しい)

活動報告書

番号

8

【団体の概要】

事業名：幡多山もりフェスmini 2022

団体名：幡多山もりフェス実行委員会

【活動の概要】

目的：幡多地域の木材PR・林業について多くの方に知ってもらう

内容：森林の役割について紙芝居やクイズ・各ワークショップで木の香りや肌触りを感じてもらう

成果：各ワークショップでは多くの親子連れが製作を楽しんでいた。木のおもちゃコーナーでは普段あまり使ったことのない『音楽の鳴らないおもちゃ』『使い方の決まりがないおもちゃ』を使い自由な発想で遊ぶ様子が見受けられた。

【プログラム】

実施年月日：令和4年11月5日（土）

場所：四万十市蕨岡中学校体育館

日程	時間	内容	詳細
	9:30	イベント開始	幡多地区森林組合協議会会長挨拶
	9:35～	各ワークショップ開始	ヒノキのツリー・万華鏡・松ぼっくりのツリー他製作
	9:45～	紙芝居	高知水源林育成士会による紙芝居とクイズ
	12:00～	イベント終了	幡多山もりフェス実行委員長 挨拶

（備考）

参加人数：大人 115名 ・ 子供（～17才） 85名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 38名

募集地区：高知県幡多管内 募集対象：小学校低学年児童までとその保護者

募集方法：ポスター・SNS等 参加費等：入場無料（一部ワークショップ有料）

マスコミ等での紹介例（あれば）：

感想：

＜参加者＞ 飲食等がないので少し寂しく思っていたが、混雑もなくゆっくりできた。各ワークショップでの製作が楽しめた。

＜スタッフ＞ 例年と違う会場で集客等の不安もあったが、思った以上の来場者数でした。午前中ののみの開催でしたが、ご来場された親子連れの方は最初から最後まで遊ばれていた方も多数いらっしゃいました。

活動報告書

番号
9

【団体の概要】

事業名:	「梼原町久保谷ロードの自然観察とセラピートリニティ」開催事業
団体名:	高知県森林インストラクター会

【活動の概要】

目的: 植原町松原に位置する久保谷ロードは、森林セラピーのロードに認定されている。この行事では、セラピートリニティとあわせて、植物や木のこの観察を実施することにより県民の皆さんに森林に親しむ機会を提供するとともに森林の効能に対する理解を広く深めていただくことを目的として開催した。

内容: 当日は、森林セラピーの講話のあとセラピーガイドとともに久保谷ロードを散策しながら周辺の自然を観察した。森林セラピーは科学的な根拠に裏付けられた森林浴であり、森を楽しみながら、心と身体の健康維持・増進、病気の予防を行うことを目指して設置されている。植原町久保谷ロードは植原町松原に位置し、昔ながらの自然が残され特異な植生に恵まれている。このため、植物、木のこなどの生態とストレスフリーなセラピーロードを併せて体験することにより、森林に触れ、癒やし親しむ心を育成することができた。

なお、この行事は、COVID-19感染拡大が懸念され、多くの行事が中止されている現状のもと、いわゆるウィズコロナとも云われる今後の行事のあり方を率先して実践し、最大限の対策により、最大限に満足できる行事として検討を重ねて実施している。



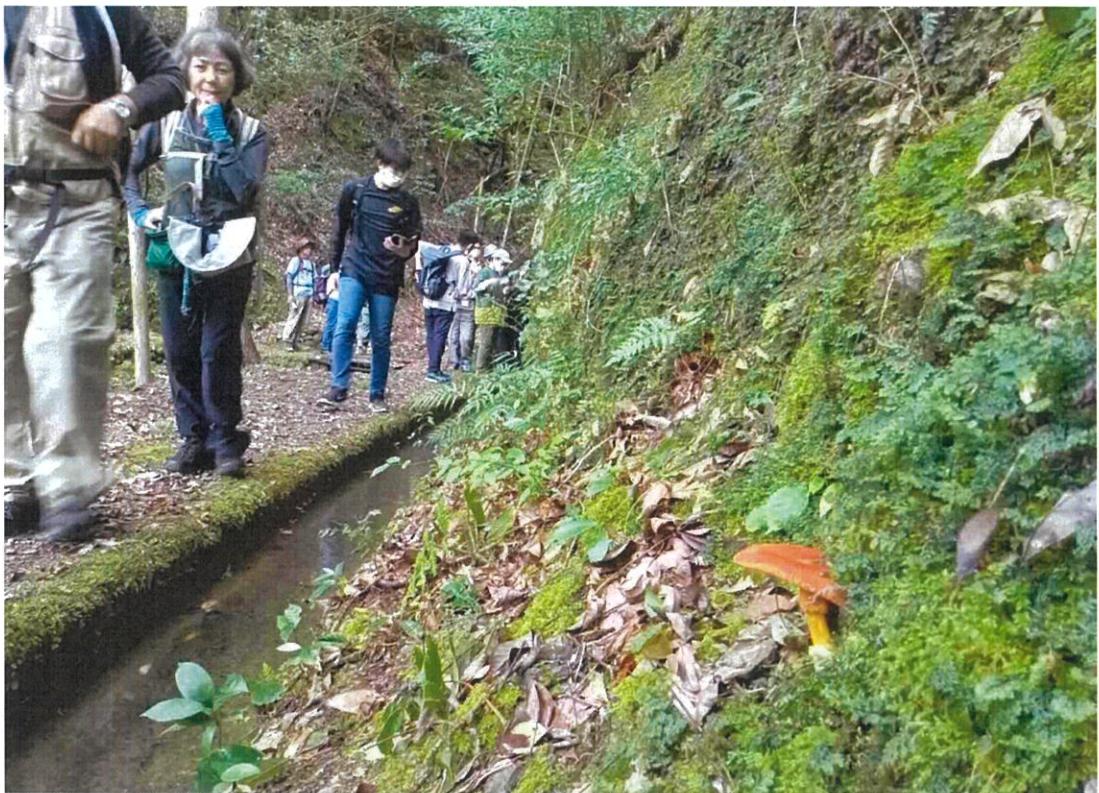
出発前の説明、留意事項



ロードへの川を渡る参加者



セラピーガイドの説明



ロード沿いには沢山のきのこも見られた



大きなきのこ（カラカサタケ）を見つけて喜ぶ参加者



終着点手前でのふりかえり

成果：地域には下記植物、きのこ類が分布していることが判明した。また、参加した県民に広く自然に親しむ機会を提供することができた。

■観察した植物、菌類

＜植物＞

アオツツラフジ、アカメガシワ、アキノチヨウジ、アセビ、アラカシ、アブラチャン、イヌシデ、イロハカエデ、イワタバコ、ウメガサソウ、ウツギ、ウラシマソウ、ウラジロ、エゴノキ、エンコウカエデ、オオツツラフジ、オオモミジ、オンツツジ、カシワバハグマ、カジ、カナメモチ、カワラハンノキ、カタヒバ、カナメモチ、ガマズミ、カマツカ、カンサイスノキ、キッコウハグマ、キシツツジ、キバナアキギリ、キンミズヒキ、クサマオウ、クロガネモドキ、ケクロモジ、ケヤキ、コウヤボウキ、コウヤマキ、コガクウツギ、コショウノキ、コチヂミザサ、コツクバネウツギ、コナラ、コバノガマズミ、コバノハナイカダ、コバンノキ、コブシ、コメツツジ、コバノガマズミ、サカキ、サネカズラ、サルトリイバラ、サンショウ、シキミ、シシガシラ、シロダモ、シャクジョウソウ、シリブカガシ、シンジソウ、スギ、ゼンマイ、タカノツメ、タニジャコウソウ、タブノキ、タラノキ、タラヨウ、チャノキ、ツガ、ツルリンドウ、ナガバノモミジイチゴ、ナツハゼ、ナンテン、ヌスピトハギ、ネズミモチ、ネムノキ、ノグルミ、ノブドウ、ハイノキ、ハナイカダ、ハリギリ、ヒサカキ、ヒノキ、フジキ、フタリシズカ、フユイチゴ、ホゾバタブ、ホオノキ、マタタビ、マルバウツギ、ミズメ、ミツマタ、モミ、モミジガサ、ユキモチソウ、ヤダケ、ヤブコウジ、ヤブツバキ、ヤブニッケイ、ヤブムラサキ、ヤブレガサ、ヤマウルシ、ヤマガキ、ヤマグワ、ヤマザクラ、ヤマノイモ、ユズリハ、リョウブ、リンボク、ワジュロ、ワラビ（109種類）

＜菌類＞

アイタケ、アイバシロハツ、アブラシメジ、アブラシメジモドキ、アワタケ、ウコンハツ、ウスタケ、ウマノケタケ、エセオリミキ、カバイロツルタケ、カラカサタケ、カワラタケ、キイボカサタケ、キイロハツ、キクバナイグチ、キツブナラタケ、クギタケ、クロアザアワタケ、シラウオタケ、シロラッパタケ、スギエダタケ、タマゴタケ、ツヤウチワタケ、ドクツルタケ、ニオイコベニタケ、ハイイロシメジ、ハナホウキタケ、フサヒメホウキタケ、フジウスタケ、ベニナギナタタケ、ヘビキノコモドキ、ホオベニシロアシイグチ、ミドリニガイグチ、ムジナタケ、ヤギタケ（35種類）

■感染症対策の実施

①乗車前

- ・体調の確認（検温、ヒアリング）
- ・行事概要、留意事項説明、資料等の配布は、乗車前に車外にて実施
(配布物：植物資料、マスク、除菌シート、ニトリル手袋、軍手、ゴミ袋)
- ・接触機会毎に使用する旨を徹底

②バス車内

- ・座席シートは、事前にアルコール噴霧にて消毒を実施
- ・走行時は外気循環
- ・乗車中は説明は行わず、参加者同士の会話は最小限にするべく周知
- ・マスク、シートベルト着用の徹底

③散策時

- セラピーロード散策のため、マスク着用有無については下記条件のもと個人の責任とした。
- ・家族、親友などフィジカルな関係にある参加を除き、参加者毎に2m以上の間隔を保持
 - ・ガイドは最前列、スタッフは参加者5名毎に配置
 - ・ホワイトボードにマジックで植物名を記載し掲示
 - ・ふりかえりは終着地点で実施
 - ・アンケートはバスに乗車するまでに車外で実施

■対策を実施した感想及び改善点

- ・参加者には意図を十分に理解していただくことができた。
- ・バス車内で音楽を流すなど時間を有効に活用するための検討が必要である。
- ・感染症対策に要する物品を配布したが、今後は検討が必要である。

【プログラム】

実施年月日： 令和4年10月2日（日）

場 所： 植原町松原 久保谷セラピーロード

日 程：	時間	内容	詳細
	7:45	集合	高知県民文化ホール前西側道路
	8:00	出発	植原町松原（久保谷ロード）
	10:30	現地到着 ツアー (昼食含む)	森林セラピー紹介 久保谷セラピーロードの自然観察 (途中休憩有)
	14:30	現地出発	高知県民文化ホール前西側道路
	17:00	到着	解散

参加人数： 大人18名 ・ 子供(～17才) 3名 / 外部講師2名 ・ スタッフ3名

募集地区： 県内全域 募集対象： 一般（1～2km程度の登山が可能な方）

募集方法： 高知県森林インストラクター会ホームページ
募集方法： ページ、FBへの掲載、県内施設等への
配布 参加費等： 無料

マスコミ等での紹介例(あれば)：なし

感想：

〈参加者〉

- ・時間に十分な余裕があり、セラピーロードを堪能することができた。
- ・配布していただいた植物リストが非常に参考になった。
- ・ガイドが2名とスタッフ講師が丁寧に説明してくれたため、十分に堪能することができた。
- ・歩きやすかったので景色を良く見ながら散策できた。
- ・一度行ってみたかったセラピーロードを楽しむことができた。
- ・様々な植物が見られて良かった。
- ・自然に触れてリフレッシュできた。
- ・樹木や植物の解説が楽しかった。
- ・森林の役割や自然生態系について学ぶことができた。
- ・講師、スタッフの対応が丁寧であった。

〈スタッフ〉

- ・念入りな準備により充実した内容で開催することができた。
- ・丁度良い時期にあたったため、通常では見られない数多くのきのこを観察することができた。

活動報告書

番号

10

【団体の概要】

事業名： デノモノ・ヨソモノ実践交流会～こうちふるさとの山体験ツアー～

団体名： 高知県青年団協議会

【活動の概要】

目的:昨年度の本事業がきっかけとなり、西土佐連合青年団・地域おこし協力隊が中心となってプロジェクト「西土佐ふるさとの森応援隊」が立ち上がった。また、地域の方からの理解・協力を頂き西土佐地域の山の管理を行う流れが一定出来た。今年度は本事業を活用し、「組織力強化・プロジェクトメニューのブラッシュアップ・地域とのつながりづくり」と、「若者が山に関心を持ち・関わるきっかけ」づくりをテーマに、自立に向けた具体的な動きを作つて行く。

内容:「草刈り・薪割り」など、中山間地域で暮らす中でほぼ誰もが身に着けている「あたりまえのスキル」を、「地域課題を解決する手段として有効であること」「ナリワイとしての魅力と可能性」を実感するプログラムとして、青年団が管理する山に入り、薪割り・草刈り体験、薪を活用した軽トラサウナなどを行い、体験するプログラムがどの様に「地域課題」「ナリワイ」に繋がっているか?を講師による講演と、参加者同士の意見交換を通じて理解を深める。また、モニター参加者たち自身の活動発表の場を設けることで、受け身の学習ではなく自分たちの活動と連動するモノとして主体的に考える場を作り、以後本事業に携わるきっかけを作った。その先鞭として、体験した感想をSNS等で発信を行うなどの取り組みも行ったもらった。

成果:高知大学のよさこいチームからまとまって参加者があったため、学習・体験も彼らが中心になった。くしくも「よさこいを通じて、若者が山に関わるきっかけ作り」をおこなうモニターツアーの様相となった。参加者からも好意的な感想が多く、来年度の活動、特にPRのやり方について大いにつながる内容になった。ただ、SNSでの発信についてまだ効果は履かれておらず、継続的な取り組みを続けていく必要があると考える。

【プログラム】

実施年月日：令和4年10月15日(土)

場所：西土佐青年の家、道の駅よつて西土佐、四万十川

日程：	時間	内容	詳細
	10:00	オープニング・座学	自伐林業について、西土佐での取り組み
	11:30	伐採見学	座学の内容を実際に見学する
	12:00	昼食	
	13:00	薪割り・草刈り体験	講師に教えてもらいながらの体験
	15:00	活動報告会	参加者の普段の活動報告・お披露目
	16:00	サウナ体験	
	18:00	交流会	BBQ、薪ストーブを使ったピザなどで交流会

(備考)

参加人数：大人 20 名 ・ 子供(～17才) 名 ／ 外部講師 4 名 ・ スタッフ 3 名

募集地区：高知県 募集対象：高知県内の青年

募集方法：チラシ・ポスター・SNS 参加費等：無料(但し交流会2000円)

マスコミ等での紹介例(あれば)：

感想：

<参加者>自分の地元にも眠った山があるので探してみたいと思った。自分たちの活動(よさこい)の紹介もさせてもらえたのがうれしかった。連携してやれることがあるんじゃないかなと思った。

<スタッフ>昨年の参加者は地元や経験者が多かったが、今年は学生など全く違う層の参加が多く新鮮だった。

ただ、講演などの内容が昨年と大きく変わってないので、またやるのであれば工夫が必要だと思う。

番号
11

活動報告書

【団体の概要】

事業名： 森林とまちがつながる四万十川河口のまち木工ワークショップ
団体名： 高知工科大学 WAvert

【活動の概要】

目的：船大工ならではの木材の加工の仕方を身に付け、歴史を知っていくことで、高知県の森林を取り巻く現状を学ぶ。

内容：木材流通などで隆盛を極めた当時の商屋や大工町を学び、そのうえで船大工の技術を用いたワークショップを開催し、実際に昔ながらの手法でボートのオールを作成した。

成果：四万十の歴史や船大工の技術を知ることにより、建築学生として今後便利となるであろう木材の方法を身に付けることが出来た。また、過疎化が進んでいる四万十市のPRも兼ねたオール等の展示会を行うことで、四万十の活性化にもつながったのではないかと考える。

【プログラム】

実施年月日： 令和4年9月2日(金)

場所： 四万十市 下田周辺

日程:	時間	内容	詳細
	9:00～10:00	座学 四万十の歴史について	講師:四万十市生涯学習課 川村慎也氏
	10:10～12:00	まち歩き 歴史や行事を歩いて体験	講師:四万十市生涯学習課 川村慎也氏 郷土史家 岡照美氏
	12:00～13:00	昼休憩	
	13:00～15:00	資料見学・レクチャー	講師:郷土史家 岡照美氏
	15:00～15:30	休憩	
	15:30～17:00	展示テーマの検討	講師:濱田企画事務所 濱田竜也

(備考)

内容：講師の方から下田の歴史や文化をスライドを用いて説明いただき、その後四万十市下田地区の街歩きを行い、実際の現場を見ることでより理解を深めた。

最後に県外の学生と共に四万十市の活性化のためのプロジェクトを発表しあい、歴史的背景の活かし方について議論した。

参加人数：大人 15 名 ・ 子供(～17才) 0 名 ／ 外部講師 3 名 ・ スタッフ 3 名

募集地区： 高知県・京都・愛知 募集対象： 建築系の大学生

募集方法： 口コミ 参加費等： なし

マスコミ等での紹介例(あれば)：地域イベントへの参加

感想：

<参加者>

今回下田を初めて訪れたが、自分の足で歩いてみることで古き良き建物や町の雰囲気に入り、自然の豊かさや人々の営みの歴史を知ることが出来た。

<スタッフ>

何度も四万十を訪れたことはあったが、実際に歴史を教えていただく機会はなかなか貴重であるので、県外から四万十に訪れた学生がそのような知識を得て、活性化のための策を練る時間を設けることが出来て良かった。

【プログラム】

実施年月日： 令和4年9月3日(土)

場所： 四万十市 下田造船所

日程:	時間	内容	詳細
	9:00～10:00	工場見学	講師:下田造船所 宮崎正男 濱田企画事務所 濱田竜也

(備考)

内容：昔ながらの手法による木の曲げ方や加工道具を知るため、船大工の宮崎氏から技術を学んだ。

※コロナ感染拡大を考慮し、講師の方より延期の要請を受けたため、オール作りは延期とした。

参加人数：大人 15 名 ・ 子供(～17才) 0 名 ／ 外部講師 2 名 ・ スタッフ 3 名

募集地区： 高知県・愛知・京都など 募集対象： 建築系の大学生・大工

募集方法： 口コミ 参加費等： なし

マスコミ等での紹介例(あれば)：地域イベントへの参加

感想：

<参加者>

建築を学んでいるだけでは知ることのできなかった施工方法を知ることができて、今後そのような技術を実際に自分でも扱っていくことが出来るようになりたいと思った。

<スタッフ>

参加した学生が学校や年齢の壁を越えて皆でオールの事前準備に励んでいて、嬉しかった。伝統的な作成方法が学生の今後の活躍に結びつき、また、四万十市の魅力を感じられたら良いと思う。今回オールを作成できなかつたので、また機会を設けたい。

【プログラム】

実施年月日：令和4年10月10日(月・祝)					
場 所：四万十市 下田造船所					
日程：	時間	内容	詳細		
	8:00～12:30 13:30～15:00	オール荒加工	講師：下田造船所 宮崎正男 濱田企画事務所：濱田竜也		
(備考) 内容：昔ながらの手法による木の曲げ方や加工道具を知るため、船大工の宮崎氏から技術を学んだ。事前に直方体に切断されていた木材を2-3人のチームに分かれ、大まかなオールの形を形成した。					
参加人数：大人 15名 ・ 子供(～17才) 0 名 ／ 外部講師 2 名 ・ スタッフ 4 名					
募集地区：高知県・愛知・京都など		募集対象：建築系の大学生・大工			
募集方法：口コミ		参加費等：なし			
マスコミ等での紹介例(あれば)：地域イベントへの参加					
感想： <参加者> 木材の加工方法を具体的に知ることができ、実際に曲線などの作り方を体験することが出来て、とてもよかったです。					
<スタッフ> 建築学生というだけでは経験することができなかった木材の加工を実際に行うことが出来て、参加者もたくさんのこと学んでいたと考えられる。講師の方やスケジュールの都合上最後まで仕上げられなかつたので、次回で仕上げたいと思った。					

【プログラム】

実施年月日：令和4年10月19日(水)					
場 所：四万十市 森山邸・下田集会所など					
日程：	時間	内容	詳細		
	9:00～12:00 13:00～17:00	展示会場作り	講師：濱田企画事務所 濱田竜也		
(備考) 内容：イベント開催のためのパネル製作など 森山邸にて昔ながらの家具の設営や環境づくりを行い、貴船神社前の倉庫にて展示を行つた。					
参加人数：大人 15 名 ・ 子供(～17才) 0 名 ／ 外部講師 1 名 ・ スタッフ 2 名					
募集地区：高知県内		募集対象：建築系の大学生			
募集方法：口コミ		参加費等：なし			
マスコミ等での紹介例(あれば)：地域イベントへの参加・広告の作成					
感想： <参加者> 何を展示すれば四万十の伝統的な道具や家具に触れることができて、どのように飾ればより当時の空間を感じることができるのかを考えながら設営を行つた。					
<スタッフ> 学生が積極的にポスター内容を議論・作成し、何をどこに飾るかやレイアウトなども各々の考えでしっかりと飾ることが出来たと考える。					

【プログラム】

実施年月日：令和4年10月30日(日)					
場 所：四万十市 下田造船所					
日程：	時間	内容	詳細		
	9:00～12:00 13:00～17:00	オール仕上げ	講師：下田造船所 宮崎正男 濱田企画事務所：濱田竜也		
(備考) 内容：昔ながらの手法による木の曲げ方や加工道具を知るため、船大工の宮崎氏から技術を学んだ。 前回の続きの製作。なめらかな曲線で木を削る方法について学んだ。最終工程					
参加人数：大人 2 名 ・ 子供(～17才) 0 名 ／ 外部講師 2 名 ・ スタッフ 2 名					
募集地区：高知県		募集対象：建築系の大学生・大工			
募集方法：口コミ		参加費等：なし			
マスコミ等での紹介例(あれば)：地域イベントへの参加					
感想： <参加者>					

何回かに分けて行っていたオール作りに最後まで携わることが出来て、良かった。この技術を習得し、今後の活動に生かしていきたいと思った。

〈スタッフ〉

少し予定通りにいかなかった部分もあるが、完成まで続けることが出来てほっとしている。今後も実際に歴史的な工法を体験してもらうイベントを主催していこうと思った。

【プログラム】

実施年月日： 令和4年11月2日(水)					
場 所： 四万十市 森山邸・下田集会所など					
日程：	時間	内容	詳細		
9:00～12:00 13:00～19:00					
展示・設営作業					
講師：濱田企画事務所 濱田竜也					
(備考)					
内容：イベント開催のための最終確認など 森山邸にて昔ながらの家具の設営や環境づくり・貴船神社前の倉庫にて展示の最終確認を行った。					
11/6に木エワークショップで制作したオールを使用し、船漕ぎ体験を実施する予定だったが、引き潮のため船を出せず中止となった。					
参加人数：大人 2 名 ・ 子供(～17才) 0 名 ／ 外部講師 1 名 ・ スタッフ 2 名					
募集地区： 高知県内		募集対象： 建築系の大学生			
募集方法： 口コミ		参加費等： なし			
マスコミ等での紹介例(あれば)：地域イベントへの参加・広告の作成					
感想：					
〈参加者〉 昔懐かしいという言葉がぴったりな家具や物をたくさん見ることが出来て、とても懐かしい思いになりました。					
〈スタッフ〉 見に来てくれるお客様にどのような流れで展示品を見ていってほしいかを綿密に考えて展示を行えたことが、とてもより良い経験となりました。					

活動報告書

番号

12

【団体の概要】

事業名：天空の庭園からのメッセージ～山の知恵と人のやさしさに出会う時間～

団体名：香美市の資源を活かす会

【活動の概要】

目的：森林資源と山の暮らしや知恵、「間伐や光」をテーマに学び、それらの持続と地域活性化、環境保全について今後の取り組みを考える。

内容：香美市物部町庄谷相の山を間伐して、約20年かけて造られた天空の庭園「紫翠園」にて開催。紫翠園から長年にわたり、「山の暮らしと知恵、歴史、文化」を発信して地域活性化活動を続けてきた公文寛伸氏から話を聴いた。そして、この地域の森林資源と自然のサイクルについて高知中部森林管理署から学び、森林資源と中山間地域の暮らしの持続や環境保全について意見交換をして、今後の取り組みを考えた。

成果：参加者やスタッフから、紫翠園の定期的整備支援の声が上がった。桜の木の手入れボランティアの申し入れがあり、後日、実施された。

【プログラム】

実施年月日：令和4年10月29日（土）

場所：紫翠園（香美市物部町庄谷相872）

日程	時間	内容	詳細
	8:30	集合、受付	香北町美良布集合後、バスで紫翠園へ移動
	9:10～9:30	開会、自己紹介、スケジュール説明	会長、園主、森林管理署署長挨拶、参加者、スタッフ自己紹介、スケジュール説明
	9:40～10:20	園主講話	山の暮らしと地域振興活動のきっかけ、これまでの地域活動について得たことなど
	10:20～11:30	園内散策、森林管理署による説明	園内に植えられている植物のガイドを聞きながら散策、間伐の現場で森林管理署からの説明
	11:30～12:10	昼食	物部町の食材を盛り込んだ「もみじ弁当」。製造は地域活性化活動グループ「おおどち食堂」
	12:10～13:30	竹細工 おやつ～アンケート記入	山の知恵で作られる竹食器づくり。皿、椀、箸、コップなどを、奥ものべを楽しむ会の指導で製作。おやつは物部地域に伝わる伝承料理、薩摩芋と里芋で作られた「けんか餅」おおどち食堂製造
	13:30～14:00	意見交換会、バス移動～解散	紫翠園や中山間地域の持続、自分たちにできること等について意見交換

（備考）高知工科大学研究連携課による、ライブ配信（スマートグラス活用）、記録動画撮影。

記録動画はYoutubeにて配信中 ※<https://www.youtube.com/watch?v=ivAxcq04XMU>

参加人数：大人 15名 ・ 子供（～17才） 0名 / 外部講師 3名 + 森林管理署3名 ・ スタッフ9名
（工科大撮影班4名）

募集地区：	高知県全域	募集対象：	高知県下の環境・地域活動関係者、それに興味のある方
-------	-------	-------	---------------------------

募集方法：高知新聞 チラシ配布 SNS 香美市広報	参加費等：	1000円
---------------------------	-------	-------

マスコミ等での紹介例（あれば）：高知新聞記事（添付資料）

感想：

＜参加者＞ ○大変勉強になった。人工林の手入れ、山の保全について教えてもらえた。○植物の魅力も伝えて自然に興味を持ってもらうこと、直面している問題など教えていただくと勉強になりました。○次世代の子供たちにどんどん山の生活、知恵を教えてもらいたい ○補助金など活用して草刈りや整備に使って持続してほしい。関係者だけではいきづまりになると思う など

＜スタッフ＞ ○知恵や文化はインターネットが普及しているので動画やデータで遺す ○場所は他人を温かく受け入れる環境づくり ○1日のイベントも良いが、宿泊のイベント開催をしたい ○スケジュールがタイトだった など

活動報告書

番号

13

【団体の概要】

事業名：通りすがりにネイチャーゲームinまきの

団体名：まきのシェアリングネイチャーの会

【活動の概要】

目的：通りすがりの来園者に自然と触れ合うネイチャーゲームを体験していただくことで、牧野植物園をより深く理解し、自然の豊かさと多様性を体感していただく契機としたい。また、指導者等の養成・習熟の機会とらえ、育成を図る。

内容：牧野植物園を活用し自然体験活動（環境教育）プログラムであるネイチャーゲーム等を実施

成果：来園者にネイチャーゲームを体験していただき、自然に対する見方や考え方を広げていただくことが出来ました。自然と触れる新しい場を提供出来ました。

【プログラム】

実施年月日：令和4年10月16日(日)

場所：高知県立牧野植物園

日程	時間	内容	詳細
	9:30	スタッフ集合	スタッフフィールド下見、受付
	10:00	開始	来園者に声掛け、受付 カモフラージュ、 フィールドビンゴ 2つのゲームを体験 アンケート
	11:00	閉式	集合写真

（備考）9/18、12/18、1/22はコロナのため中止

参加人数：大人 20名 ・ 子供（～17才）名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 7名

募集地区：高知県内 募集対象：牧野植物園来園者どなたでも

募集方法：植物園と連携、チラシ 参加費等：無料

マスコミ等での紹介例（あれば）：

感想：

＜参加者＞

- 普段意識していないことを知ることが出来ました。
- 新しい発見があり参考になりました。
- これから身の回りの自然にもっと目を向けようと思います。

＜スタッフ＞

- ネイチャーゲームの体験についてはアンケートの結果参加者の9割の方が初体験で自然体験メソッドとして、より普及していく重要性が明らかになった。高知県シェアリングネイチャー協会理事会で報告。会員のスキルアップや新しいネイチャーゲーム体験の場とすることが話し合われ、今後も充実させていく方向で一致した。○参加者の感想にあるように自然と触れる新しい場を提供出来たと感じています。○課題としてコロナ禍の中でスタッフの感染対策が重要、実施に対して慎重にならざるを得ない。

活動報告書

番号

14

【団体の概要】

事業名：大月の製炭学習と里山への植栽活動

団体名：大月町備長炭生産組合

【活動の概要】

目的：製炭体験、ウバメガシの植栽、ウォーキングやドングリの収穫体験をすることにより、町内外の方に自然に親しんでもらい、山林や地域産業の理解を進めるとともに、地域内外の交流を促進する。

内容：ウバメガシのお話（森林技術センター黒岩氏）、海と山のお話（黒潮実感センター神田氏）、ウォーキング、ドングリ拾い、植栽、備長炭づくり現場体験、苗木づくり

成果：今年度は町有林にて実施。町と一緒に将来を見据えた植栽活動を継続して行っていることが、関係する人たちの様々な分野での意識の向上に繋がっている。

【プログラム】

実施年月日：令和4年11月12日（土）

場所：大月町内の山林、炭窯、苗床

日程	時間	内容	詳細
	10:00～	ウォーキング	山の新鮮な空気を吸いながらのウォーキング
	10:30～	ウバメガシのお話	特徴や植生等の話
		植栽	苗木の植栽
	14:00～	備長炭づくり現場体験	木割り等、備長炭づくりの体験・見学
	14:30～	苗木づくり	拾ったドングリをコンテナに植える

（備考）

参加人数：大人 28名 ・ 子供（～17才） 1名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 7名

募集地区：県内 募集対象：県内の小中高生・県民

募集方法：町内各戸へのチラシの配布、FB等での告知 参加費等：大人1,000円、小学生以下500円

マスコミ等での紹介例（あれば）：事業終了後、高知新聞の記事となった。

感想：

＜参加者＞高校生や行政、また有識者らと一緒にイベントであり、将来を見据えた地元の産業のあり方を勉強させていただき大変貴重な体験をすることができました。

＜スタッフ＞今年度は黒潮実感センターの神田先生が一般参加してくれ、高校生を中心とした参加者に海と山は恋人という内容で話をしてくれた中での植栽活動となり、大変貴重な体験ができたことと思ってます。

活動報告書

番号

15

【団体の概要】

事業名：香美市の山々をゆっくり楽しもう！！日帰り白髪山登山

団体名：一般社団法人香美市観光協会

【活動の概要】

目的：香美市の山々を楽しく登山することによって、高知県の緑化推進づくりを体感してもらいます。また、高知中部森林管理署のサポートを頂くことで、山林の環境保全の重要性も学んでもらいます。

内容：

- ・ゆっくり自分のペースで、秋の登山を楽しんでもらいます。
- ・山頂で、森林管理署スタッフによるSDGsセミナー「白髪山周辺の山々」を実施します。

成果：参加者は香美市周辺在住だったが、白髪山登山は初めての方が多かった。大変好評で、「こうち山の日推進事業」のイベントとして理解していただいた。今後、香美市の山々の登山を企画していきたい。

【プログラム】

実施年月日：令和4年10月22日(土)

場所：白髪山

日程：	時間	内容	詳細
	8:30	大栃山崎公園・集合受付	
	8:50-10:10	白髪山登山口	貸切バスで移動
	10:25-11:25	登山開始→白髪山山頂	昼食・「白髪山周辺の山々」セミナー
	13:05-13:50	下山開始→白髪山登山口	
	14:00-15:30	大栃山崎公園・解散	貸切バスで移動

(備考)

参加人数：大人 19名 ・ 子供(～17才) 0名 ／ 外部講師 0名 ・ スタッフ 5名

募集地区：高知県 募集対象：50歳以上の男女

募集方法：パンフ・HP・SNS 参加費等：1,000円

マスコミ等での紹介例(あれば)：

感想：

<参加者>アンケートから抜粋

自家用車では疲れる(道が狭いので)、ゆっくり安心して登山ができた。

いい時期の登山をありがとうございました。専門職の話も聞けたし、山の解説も詳しくしていただいて良かったです。知らないことも多々ありました。

一度登りたいと思っていた山なのでいい機会になりました。グループ登山ではあったが、50歳以上との条件だったので、登りペースも大丈夫だろうと安心して参加できました。

またこのような企画をぜひお願いします。また参加したいです。登山は1人ではなかなか来にくいので、連れて行っていただけると助かります。

<スタッフ>

・80歳代の参加者もいたので、参加者を2班に分け、もう少しゆっくりのペースで登山すれば良かった。登山道がえぐれたり、笹で覆われたりして、大変歩きにくく危なかった。森林環境税を使って整備ができないか？

活動報告書

番号

16

【団体の概要】

事業名：久保谷森林セラピーロード活用事業

団体名：松原まろうど会

【活動の概要】

目的：平成19年度に四国で初めて森林セラピーロードに指定された「久保谷森林セラピーロード」をより効果が高まるよう案内し、山の持つセラピー効果を体験してもらう。

内容：セラピーガイドのスキルアップをする為にガイドを呼び、現地を歩きながら山の持つセラピー効果の体験勉強会を2回行った。その後、勉強会の参加者でガイド実践を行い、久保谷森林セラピーロードをより効果が高まるよう案内した。

また、後継者育成のためガイドが利用するガイドブック50冊を作成した。

成果：勉強会を開きスキルアップするためのガイドブックを作成し活用することにより、来年度増加が見込まれる観光客を迎える体制を整えることにより、山の持つセラピー効果を高めることができる。また後継者2名を新たに育成した。

【プログラム】

実施年月日：令和4年10月18日(火)

場所：久保谷森林セラピーロード

日程：	時間	内容	詳細
	9:00～9:30	あいの里まつばら横広場で受付	久保谷森林セラピーロードをより効果が高まるよう案内し、山の持つセラピー効果を体験してもらうためのセラピーガイドのスキルアップを図る為、講師を招きガイド研修を実施した。終了後、ガイドブック作成のための意見交換も実施。
	9:40	説明、起点へ出発	
	10:00	ガイド研修	
	12:00	終了、意見交換	

(備考)

参加人数：大人 6 名 ・ 子供(～17才) 名 ／ 外部講師 1 名 ・ スタッフ 1 名

募集地区：高知県内 募集対象：森林セラピーガイド

募集方法：ポスター 参加費等：なし。

マスコミ等での紹介例(あれば)：

感想：

〈参加者〉 講師の中平さんから植物名の研修を受けて有意義な研修でした。

【プログラム】

実施年月日：令和4年11月10日(木)

場所：久保谷森林セラピーロード

日程：	時間	内容	詳細
	9:00～9:30	あいの里まつばら横広場で受付	久保谷森林セラピーロードをより効果が高まるよう案内し、山の持つセラピー効果を体験してもらうためのセラピーガイドのスキルアップを図る為、講師を招きガイド研修2回目を実施した。終了後、ガイドブック作成のための2回目打ち合わせ・意見交換も実施。
	9:40	説明、起点へ出発	
	10:00	ガイド研修	
	12:00	終了、意見交換	

(備考)

参加人数: 大人 5 名	・ 子供(~17才)	名	/ 外部講師 1 名	・ スタッフ 1 名
募集地区:	高知県内	募集対象:	森林セラピーガイド	
募集方法:	ポスター	参加費等:	なし。	
マスコミ等での紹介例(あれば):				
感想: <参加者> 講師の中平さんから、1回目の続きの植物名の研修を受けて有意義な研修でした。終了後参加者全員でガイドブック作成の意見交換を実施したので、ガイドブック完成が楽しみです。				

【プログラム】

実施年月日: 令和4年12月14日(水)				
場 所: 久保谷森林セラピーロード				
日程:	時間	内容	詳細	
	9:00～9:30	あいの里まつばら横広場で受付		
	9:40	説明、起点へ出発		
	10:00	ガイド研修	久保谷森林セラピーロードを2回研修で得た成果を発表しあうため、ガイド研修を実施。	
	12:00	終了		
(備考)				
参加人数: 大人 7 名	・ 子供(~17才)	名	/ 外部講師	名
募集地区:	高知県内	募集対象:	森林セラピーガイドに興味のある人	
募集方法:	ポスター及び高知県森と緑の会HP	参加費等:	なし。	
マスコミ等での紹介例(あれば):				
感想: <参加者> 主な植物などの詳しい説明を受けられ有意義な研修でした。R5、4月以降も楽しみにしております。 <スタッフ> 参加者全員がガイドに興味があり、それぞれが研修の成果を出し合い有意義な研修でした。ガイドブック完成がまちどおしいです。				

活動報告書

番号

17

【団体の概要】

事業名：巣箱を作つてブッポウソウの生息環境を増やそう。

団体名：公益社団法人生態系トラスト協会

【活動の概要】

目的：生息数の少ない夏鳥のブッポウソウの繁殖環境を維持するため新たに巣箱作りを行い、設置する。

内容：1日目、講師を招き巣箱作りの実践教育を行いました。ブッポウソウの巣箱は巣穴の直径が8センチもある大きなもので、オシドリ、アオバズク、オオコノハズク、ムササビなど他の生物も利用することを説明。今年3月27日に巣箱かけ中に亡くなった下津井の門脇恒美さんが、夢のように美しい「ブッポウソウの里」作りのために、自宅の周囲に30個以上のたくさんの巣箱を設置しています。その志を継いで、2日目は設置方法を学び、巣箱掛けを行いました。危険であるため、実際に巣箱をかけるのはプロにお任せし、参加者は見学しました。古い巣箱にはたくさんのテントウムシやカメムシの仲間がいたので、子どもたちは古い巣箱に夢中になって観察していました。

成果：森林の生物の多様性について学びました。また、ブッポウソウの生息状況や、巣箱を他の動物も利用することなどを知り、興味を深めていただきました。

【プログラム】

実施年月日：令和4年12月10日(土)

場所：四万十町ヤイロチョウの森ネイチャーセンター

日程	時間	内容	詳細
	10:00	挨拶、説明	
	10:30	巣箱作り	ブッポウソウの生息状況、巣箱の役割について説明。
	12:00	昼食	実際に金づちやノコギリを使っての巣箱作りを体感する。
	13:00	巣箱作り	
	15:00	現地解散	

(備考)

参加人数：大人 9名 ・ 子供(～17才) 13名 ／ 外部講師 1名 ・ スタッフ 3名

募集地区：高知市、四万十市、黒潮町、四万十町を中心全国。

募集対象：森林の保全に関心のある方

募集方法：チラシ配布、SNS(当協会のFB、HP、イーベント情報、line)

参加費等：無料

マスコミ等での紹介例(あれば)：四万十ケーブルテレビ

感想：

<参加者>

最近は子どもがノコを使つたりすることは少なくなっていると思いますが、今日のような体験ができ本当に良かったです。また、自然を見ながら活動出来たことも良かったです。普段かなづちや、ノコギリを使って作業することがあまりないので最初は何から始めたら良いか分からなかつたですが、見よう見まねでやってみると意外と面白くて集中してやれました。形になると嬉しいですね！分からないところや、力がいるところは優しく教えてもらえたのですごく楽しかったです。子供と共同作業ができ、とても楽しくできました。子供もすごく喜んでいて良かったです。

<スタッフ>

広報に力を入れた結果が実りキャンセル待ちが出るほど応募があった。コロナ等によるキャンセルが発生した際はキャンセル待ちの方々にも参加いただいた。親子で力を合わせ、みんな上手に楽しそうに巣箱を作っていた。

【プログラム】

実施年月日： 令和4年12月11日(日)						
場 所： 四万十町ヤイロチョウの森ネイチャーセンター、四万十町下道、下津井地区、梼原町松原						
日程：	時間	内容	詳細			
	10:00	挨拶、説明	下道、下津井、松原の3か所で巣箱設置を見学。			
	10:30	下道に移動	巣箱1個設置			
	12:00	昼食				
	13:00	下津井に移動	巣箱1個設置 古巣箱撤去・観察			
	14:00	松原に移動	巣箱1個設置 古巣箱撤去・観察			
	15:00	現地解散				
(備考)						
参加人数： 大人 6名 ・ 子供(~17才) 12名 ／ 外部講師 1名 ・ スタッフ 2名						
募集地区： 高知市、四万十市、黒潮町、四万十町を中心全国。	募集対象： 森林の保全に関心のある方					
募集方法： チラシ配布、SNS(当協会のFB、HP、イベント情報、line)	参加費等： 無料					
マスコミ等での紹介例(あれば)：四万十ケーブルテレビ						
感想：						
<参加者> 自分では行けない場所に行って良かった。ブッポウソウの生態や住んでいるところ等詳しく知ることができて良かったです。このような活動があることを知らなかったので子供たちと参加できて良かったです。巣箱の付け方や、古巣箱の中を見ることができ、大変貴重な経験が出来たと思います。娘も目を丸くして見ていました。来年もぜひ参加させてもらいたいです。						
<スタッフ> 広報に力を入れた結果が実りキャンセル待ちが出るほど応募があった。コロナ等によるキャンセルが発生した際はキャンセル待ちの方々にも参加いただいた。親子で力を合わせ、みんな上手に楽しそうに巣箱を作っていた。またブッポウソウの生息状況や、巣箱を他の動物も利用することなどを知り、興味を深めた様子だった。ブッポウソウが飛来するのは4月末なので、また、参加者を募集して4月頃に巣箱かけイベントを開催したいと考えています。						

番号
18

活動報告書

【団体の概要】

事業名： 林業映画祭2022
団体名： 林業女子会@高知

【活動の概要】

目的: 森林をテーマにした映画の鑑賞と森林体験を通して、林業への関心を持つてもらう。
内容: ・森林をテーマにした映画の上映 ・森林体験(薪割り、焚火、チェンソー実演、森林散策) ・木製品等の販売ブース
成果: ・映画上映では87名の来場者が参加し、映画以外のプログラムも合わせると100名を超える参加者があつたと見込まれる。 ・高知県内は東部地域から高知市、佐川町、中土佐町など各地から、県外では香川県、愛媛県、徳島県、京都府などから参加があった。また、子どもから高齢者まで幅広い年代の参加があった。 ・森林体験では薪割りや焚き火、人工林の散策を通して実際に森林や木と触れる体験を老若男女にしていただけた。 ・物販コーナーでは高知県内で製造されている木製品や薪炭が主に販売され、購買を通して木づかいに参加していただけた。

【プログラム】

実施年月日:	令和4年11月26日(土)		
場所:	大心劇場および周辺の山林		
日程:	時間	内容	詳細
	10:00~/13:00~/15:00~	映画「杣人物語」上映	
	10:00~17:00	森林体験、物販	開催期間中に常時、森林体験や物販を実施した。
(備考)			
参加人数: 大人 48 名 ・ 子供(~17才) 3 名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 8 名			
募集地区: 主に高知県内		募集対象: 主に高知県内在住の一般市民	
募集方法: チラシ配布、SNS発信、SNS広告		参加費等: 大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円(映画鑑賞料)	
マスコミ等での紹介例(あれば):			

【プログラム】

実施年月日:	令和4年11月27日(日)		
場所:	大心劇場および周辺の山林		
日程:	時間	内容	詳細
	10:00~/13:00~/15:00~	映画「杣人物語」上映	
	10:00~17:00	森林体験、物販	開催期間中に常時、森林体験や物販を実施した。
(備考)			
参加人数: 大人 49 名 ・ 子供(~17才) 1 名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 7 名			
募集地区: 主に高知県内		募集対象: 主に高知県内在住の一般市民	
募集方法: チラシ配布、SNS発信、SNS広告		参加費等: 大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円(映画鑑賞料)	

マスコミ等での紹介例(あれば) :

感想 : 11/26、11/27まとめ

〈参加者〉

- ・子供が森林に関わる仕事への就業を考えており、林業映画祭へ参加した。林業女子会と交流ができ、参考になった。
- ・昭和の雰囲気を感じる映画館で森林にまつわる映画を見ることで、タイムスリップしたような感覚があり、面白かった。
- ・映画を通して仙人（森林と生きてきたお年寄り）からのメッセージを、若い年代の方々が受け取っているようで感慨深かった。
- ・普段、林業に従事しているが、森林へ気軽に訪れてもらうための工夫が参考になった。

〈スタッフ〉

- ・四国4県から林業に従事する女性の参加があり、交流ができ非常に有意義だった。
- ・幅広い年齢層に楽しんでいただけるさまざまなコンテンツを用意することができた。
- ・来年もまた開催したい。

【団体の概要】

事業名： 日ノ御子アウトドアフェス2022

団体名： 株式会社ラフディップ

【活動の概要】

目的：日ノ御子河川公園キャンプ場は香美市の美しい自然を体験できる場として、年間を通して多くの人が訪れます。上流部は県内外からクライマーが訪れるボルダリングスポット。また物部川付近ではダム湖を利用してSUP体験なども行われており、夏場は川遊びの家族連れや若者で賑わいます。また日ノ御子川は香北町の水源として、その森の恵みを受けている清流です。

しかし、現状ではこのように利用する人と地域住民の間で交流はなく、顔もわからない、何をしているかもわからないような状況です。このイベントを通して香美市の森が育む、日ノ御子の魅力を地域住民が再認識するとともに、地域と利用者の交流の機会とし、体験型の観光や教育、地域振興など、これから森林サービスとしての可能性を引き出す第一歩としたいと考えています。

イベント開催前には地域住民、クライマー、SUP、地元の小中学生、行政が一緒に、日ノ御子川河口付近から上流部まで一斉清掃を行いました。綺麗になった日ノ御子に県内から沢山の方にイベントに来てもらい、香美市の森の恵みや自然で遊ぶ楽しさを体験してもらい、高知の自然の素晴らしさを実感し、郷土と自然を愛する心を育んでほしいという願いで行います。

内容：

当日は暑いくらいの晴天に恵まれ、森や川で過ごすにはぴったりの陽気となりました。

スタート10時から沢山の家族連れやカップル、若者たちが訪れ、マルシェやアクティビティを日ノ御子の自然の中で楽しんで行ってくれました。参加者の方から「わくわくに満ち溢れた世界だった！」と言う言葉をかけていただき、正に思い描いていたアウトドアフェスのイメージに近づけられたのではないかと思っています。

■五つの体験ブース

- ・特設クライミングウォール
- ・物部川でSUP体験
- ・パックラフト（ゴムでできた軽量のカヌーのようなもの）体験
- ・ブッシュクラフト体験（インスタフォロワー14万人のブッシュクラフトの達人が、森で役立つロープワーク、ナイフワーク、火おこしのワークショップを実施）
- ・スラックライン（木と木の間にロープを張りバランスを取ったり、パフォーマンスをするスポーツ）

■マルシェ

- ・飲食ブース17店舗、リラクゼーションやクラフト系ブース6ブース

県産材を使った木工クラフト作家のブースや環境に配慮した素材を使った洋服や雑貨の作家ブース、オーガニックな素材で作ったスイーツなどに、関心のある人たちがたくさん訪れていました。

成果：

まず、イベントの実施にむけ、10/2(日)には約100人のボランティアが集まり、日ノ御子川、物部川の清掃活動を行いました。

クライマー、sup、地域の方々、小学生から高校生のボランティア、行政の方々などが集まり、日ノ御子に感謝の気持ちを込めて、きれいになった日ノ御子にたくさんの方に来ていただくため実施をしました。上流では予想をはるかに超える不法投棄の量に愕然とするも、みんなで力を合わせて、土に埋もれた300個以上の一斗缶を掘り出し撤去するなどしました。また下流では物部川沿いの長年にわたって積み重なっているポイ捨てゴミを小学生の親子が中心となり、きれいにすることが出来ました。これらの活動を経て、日ノ御子アウトドアフェスを開催することができ、日ノ御子を利用する人、地域住民、小学生から高校生、地元有志のボランティア、行政がひとつになり、人的な交流が促進され、地域の連携が今まで以上に高まったと思います。

またイベントを通して、香美市香北町の森林や河川などの自然環境を活かした体験型観光や地域振興のひとつのモデルとなり、可能性を見出すことが出来たのではないかとも思っています。

今回のイベントを通じて、事業者間においても新しい出会いや信頼関係がより強固になるなど、今後の連携を確認しあう素晴らしい機会となりました。

【プログラム】

実施年月日： 令和4年10月23日(日)

場 所： 日ノ御子河川公園キャンプ場(香美市香北町西峯59)

日程:	時間	内容	詳細
	7:00	スタッフ集合	
	7:30	出店者搬入開始	
	8:00	駐車場誘導係打ち合わせ	
	9:00	スタッフ打合せ	
	10:00	開会、イベントスタート	・総合案内に救護班を設置 ・安全管理と清掃のため施設内巡回 ・アンケート回収 ・アクティビティの受付補助
	15:00	閉会	
	15:30	出店者搬出開始	・看板、のぼりなどの撤去、片付け
	17:30	終了	

(備考)

参加人数： 大人 600名 ・ 子供(～17才) 700名 ／ 外部講師 7名 ・ スタッフ 15 名

募集地区： 県内全域 募集対象： 子どもから大人まで

募集方法： SNS、HP、チラシ配布、広報誌など 参加費等： 入場無料(体験により有料のものあり)

マスコミ等での紹介例(あれば)

:高知アイ+スーパー、高知新聞(10/28)

感想：

<参加者>アンケートから抜粋

キャンプ場を活用したよいイベントでした。ぜひ継続してください。

ゴミ箱、座る場所も多くて良い！気持ち良し！また続けてください。来ます。

自然が豊かでとてもよかったです。

とても楽しいイベントで、コロナもあり、久々に子供をつれてみてまわってよかったです。

<出展者>アンケートから抜粋

自然環境が豊かなので、県内在住者や県外の方にも知って頂けるようなヒノミコアウトドアフェスに成長していくように感じました。

定期開催してほしい。冬も冬で何か香美市の魅力を掘り起こすものにして欲しい。

このフェスは、者と物、物と人、物と物を繋げただけではなくて、人と人をがっちり繋げてくれた最高のイベントでした。地域の方々、中学生のみなさま、出店者の方々、スタッフのみなさま全てをひとつのワールドとしてくれた空間でした。

<スタッフ>

・1,300人を超える集客があり、事故や怪我もなく無事終えることができたので良かった。

・さまざまな課題があったが、実施までにスタッフ間、出店者間で協力体制がとれ、今できる最善の形でイベントを実施することができた。

・地域の魅力を多くの人に知っていただく機会になった。

課題

・補助金申請が遅くなってしまい、準備が後手後手になってしまった。

・準備段階でマルシェ出店者の募集、選定に苦労したため、イベント全体のスケジュールがタイトになってしまった。

・飲食の出品内容に偏りがでてしまった。

・様々な事情で実施工業エリアを2エリア設定したが、賛否両論あった。

・ブレーカーが何度も落ちてしまうトラブルがあり、電源ごとの許容量と使用電力を正確に把握しておく必要があった。

・テントや机などの貸し出し物品に関して、出店者と意思疎通がうまくできていないところがあり、当日準備にバタバタした。

・アクティビティエリアには電源がもともとなく、大容量ポータブル電源で対応していたが、途中で電源が落ちてしまった。

活動報告書

番号

21

【団体の概要】

事業名：ネイチャーゲーム体験＆ネイチャークラフト教室

団体名：高知県シェアリングネイチャー協会

【活動の概要】

目的：近年、こどもたちをめぐる様々な課題が叫ばれているなか、学校や家庭以外にこどもたちが自分自身の存在を確認したり、心優しい仲間づくりができる場所が必要とされています。本会では、子ども達へネイチャーゲーム並びに木使い活動を通して、豊かな自然の恵みや自然への発見・不思議や地域文化を学ぶことにより、子どもの持つ感性を伸ばし、「気づき」「理解」「行動」など「生きる力」を醸成するきっかけ作りを目的とする。

内容：自然体験活動（環境教育）プログラムであるネイチャーゲームアクティビティを実施し、こどもたちの豊かな心や生きる力を育む。木工クラフトや竹の万華鏡づくり、クリスマスリースづくりなどを通して森林及び自然環境への関心を高める。

成果：

- ・自然体験活動（環境教育）プログラムであるネイチャーゲームアクティビティの体験で、理解と関心を高める事が出来ました。
- ・人を思いやる心や豊かな心を育むきっかけづくりができました。
- ・自然への気づきをわかつちあいました。
- ・クラフト体験を通して、木や森林についての学びが深まり、自然への関心を高める事が出来ました。

【プログラム】

実施年月日：令和4年10月23日（日）

場所：国立室戸青少年自然の家

日程：	時間	内容	詳細
	10:00	あいさつ、自己紹介等	スタッフ及び参加者自己紹介、事務連絡
	10:10	ネイチャーゲーム「ノーズ」	生きものの特長について考える
	10:15（休憩含む）	ネイチャーゲーム「木の葉のカルタ取り」	落ち葉などの特長について考える
	11:00	ネイチャーゲーム「しぜんだいすきだいじがし」	自然の循環やつながりについて考える
	11:25	葉っぱのステンドグラス、飛ぶ羽であそぼう	葉や飛ぶ種について考える
	12:00	昼食	
	13:00	ネイチャーゲーム「カモフラージュ」	擬態について考える
	13:20	ネイチャーゲーム「森の美術館」	自然の美しさに気づく。森に美術館をつくる。
	14:00	森のお弁当箱づくり	自然物にふれあい、自然の恵みへ感謝する心を育む
	14:30	閉会、アンケート、わかつちあい	あいさつ、アンケート、参加者とのわかつちあい

（備考）

参加人数：大人 3名 ・ 子供（～17才） 3名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 3名

募集地区：高知県内外 募集対象：親子

募集方法：国立室戸青少年の家チラシ、HP等 参加費等：300円（幼児0円）

マスコミ等での紹介例（あれば）：なし

感想：

＜参加者＞

大変楽しい時間を親子で過ごすことが出来ました。身近な自然で色々な遊びが手軽に出来る事が勉強になった。

＜スタッフ＞

ゆったりとネイチャーゲーム体験が出来ました。

【プログラム】

実施年月日： 令和4年10月29日(土)			
場 所： アウトドアビレッジ本山			
日程：	時間	内容	詳細
	10:00～15:00	ネイチャーゲーム 木のペンダント 竹の万華鏡づくり	季節の野菜について学ぶ他 木のペンダントをつくる 竹を使った万華鏡をつくる
(備考)			
参加人数:	大人 2名 ・ 子供(～17才)	34名	／ 外部講師 名 ・ スタッフ 6名
募集地区:	高知県内外	募集対象:	一般:大人、こども
募集方法:	モンベルチラシ、HP等	参加費等:	200円
マスコミ等での紹介例(あれば):なし			

【プログラム】

実施年月日： 令和4年10月30日(日)			
場 所： アウトドアビレッジ本山			
日程：	時間	内容	詳細
	10:00～15:00	ネイチャーゲーム 木のペンダント 竹の万華鏡づくり	季節の野菜について学ぶ他 木のペンダントをつくる 竹を使った万華鏡をつくる
(備考)			
参加人数:	大人 2名 ・ 子供(～17才)	55名	／ 外部講師 名 ・ スタッフ 6名
募集地区:	高知県内外	募集対象:	一般:大人、こども
募集方法:	モンベルチラシ、HP等	参加費等:	200円
マスコミ等での紹介例(あれば):なし			
感想: 10/29、10/30まとめ			
<参加者> 娘たちも喜んでいて楽しかったです。自然に癒されました。ありがとうございました。また来たいです。体験できるのが楽しい。			
<スタッフ> 多くの方に木や竹を使ったネイチャークラフトに参加いただきました。			

【プログラム】

実施年月日： 令和4年11月13日(日)			
場 所： アウトドアビレッジ本山			
日程：	時間	内容	詳細
	10:00～15:00	木のおもちゃづくり 木のおもちゃでの遊び クリスマスリースづくり	木を使った車やストラップづくり 木のおもちゃで自由に遊び、木に親しむ クリスマスリースづくり
(備考)			
参加人数:	大人 2名 ・ 子供(～17才)	4名	／ 外部講師 名 ・ スタッフ 4名
募集地区:	高知県内外	募集対象:	一般:大人、こども
募集方法:	チラシ配布、HP等	参加費等:	500円、300円
マスコミ等での紹介例(あれば):なし			
感想:			

〈参加者〉

楽しかったです。体験できるのが楽しい。

〈スタッフ〉

雨のため外でのネイチャーゲームが実施出来ませんでした。雨のため来場者が少なかったです。